

OGHクラブの活動をサポートいただく方々をご紹介します！

「子育て広場」でお会いしましょう！



安達久美子さん [首都大学東京健康福祉学部大学院教授]

地域と深く関わるようになったのは、神戸市看護大学勤務時に、プレパパ&プレママが対象の「子育て教室」を開いたのがきっかけです。そこでお母さまだけではなくお父さまを含め、ご家族みんながコミュニケーションを深める場として地域と連携した子育て支援活動を始めました。現在は荒川区民と首都大学との協働で、出産直後の方をサポートする「35(産後)サポネット in 荒川」というボランティアチームを作り活動しています。

オーベルグランディオハートアイランドでは、1年というスパンで子育て支援のイベントを行っていきます。具体的には、月に一度、「キッズラボ」で「子育て広場」を開催します。お母さま方の要望を伺いながら、赤ちゃんマッサージや、栄養・インフルエンザ予防策のお話、また「パーティーキッチン」での離乳食づくり等、子育て中のご家庭が欲していることを積極的にプログラムに組み込んでいきます。専門家として、また地域を知る先輩として、子育てに必要な地域の情報をお伝えしたり、行政との連携、精神面などについてもご希望があればサポートさせていただきたいと思っています。

イベントを通じてお知り合いになり、気軽に声をかけあうことのできる関係がマンション内に生まれ、子育てを通じたコミュニティの輪が広がっていくことと思います。将来、このコミュニティが、子育て世代だけでなく、居住者全体に広がっていくことができれば理想的です。

「2つのライブラリを楽しい空間に！」



荻原尚子さん [社団法人全国学校図書館協議会・学校図書館活動推進委員/こどもの読書アドバイザー]

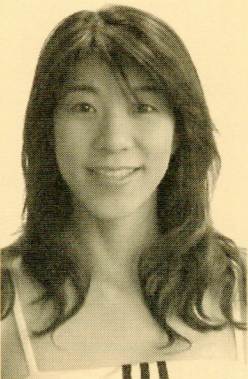
本と親しむ「場」「空間づくり」に携わるようになったのは、小学校教諭時代。図書主任として利用が少ない図書室を楽しい空間にしようと思い組んだ結果、子どもたちが自然と足を運ぶように。全国から図書室の見本にしたいと視察に来る程になりました。

オーベルグランディオハートアイランドでは、これまでの経験を活かし、子どもだけでなく大人にも、ライブラリは楽しい場所、安心できる場所だということを、居住者に伝えられたら、と思っております。まず、「こどもライブラリ」の蔵書には子どもの年齢ごとに絵本・児童書を選びます。「コモンライブラリ」では大人用に、ちょっと立ち寄りサラッと読める旅の本等を置きたいと考えています。ライブラリ開設後は、親子で気軽に楽しめ自然と本に親しむ場となるよう、定期的に「読み聞かせ」や紙芝居等、ライブラリーグループの活動のサポートもして参ります。お母さまには、「読み聞かせ」に向いている絵本やコツなどもアドバイスしていけると思っています。

本は、親子・兄弟・家族がつながるだけでなく、子ども同士・親同士・家族と家族をつなげることもでき、本をきっかけに居住者同士のコミュニケーションが育まれていくことでしょ。とはいえ、あくまでも主役は居住者の方々。ライブラリという空間が、皆様にとって“大切な財産”となるよう道しるべを作る役割を果たせたら、と思っております。

健康づくりで幸せな毎日を！

角田ゆかりさん [グローバルシステムズ株式会社GreatShape事業部/インストラクター]



私たちは、スポーツクラブや企業、高齢者施設、個人宅に出向き身体づくり、健康サポート等ヘルスケア全般のパーソナルサービスを行っています。スポーツクラブではスタッフの皆さんの研修、企業では社員の体力測定やメタボ予防等々を。個人のお客様には、体育の授業がもっとうまくなり11歳の小学生から101歳の方には介護予防の運動と、幅広い年代の方がいらしゃいます。スタッフには運動トレーナーは元より栄養士、理学療法士がいて、チーム体制でトレーニングやアドバイスをを行います。私たちのプログラムで、毎日が楽しくなる、生活に張りが出る等、それぞれの年代に相応しいQOL(生活のクオリティ)を追求するお手伝いができると思います。

オーベルグランディオハートアイランドの目の前には広々とした荒川の堤防が続いています。この立地を活かしてマラソンに挑戦してみたいかがでしょう。体力づくりや栄養指導を受け、荒川市民マラソンを目指すのもいいですね(最初は5kmが無理のない距離です)。新田さくら公園の全面オープンで、お父さまと子どもと一緒に運動できる環境も整っています。「カルチャーホール」を使って、産後の骨盤エクササイズやエアロビ、ヨガ、ピラティス等も、居住者の方々のご希望を入れながら体験会を行いたいと考えています。体験会で出会った方々が運動を続けたいというご要望があれば、サークル活動のサポートもして参ります。来春お目にかかるのが楽しみです。